

教材4-A-(5) 度数分布表

①『相対度数』の解決のために

○ 相対度数とは、

「その階級の度数の、資料全体の個数（各階級の度数の合計）に対する割合」であるから、

(相対度数) = $\frac{\text{階級の度数}}{\text{資料全体の個数}}$ で求められる。

【表】 B中学校のハンドボール投げの記録

階級(m)	度数(人)	相対度数
以上 未満		
0～5	0	
5～10	2	
10～15	3	
15～20	9	
20～25	16	<i>a</i>
25～30	8	
30～35	1	
35～40	1	
合計	40	1.00

右上の表でハンドボールを20m以上25m未満の階級で、この階級の度数は

人です。

よって、

相対度数は $\frac{16}{40} = \text{$ となる。

○ 相対度数は、全体の個数が異なるいくつかの資料を比べるときに、大変便利である。

たしかめよう

右上の【表】B中学校のハンドボール投げの記録について、次の記録の生徒が入る階級の相対度数を求めなさい。

(1) 27m

(2) 34m

(3) 15m